

農務	・学科の特色を明確化し、魅力ある学習活動の実施と設備の充実に取り組む	・月一回の農務部全体会を実施し、各学科の情報共有と学校の発展に向けた協議を行う。 ・各学科の特色を具現化するためのロードマップを作成し教育内容・活動及び施設の段階的な調整を行う。				
	・地域、産学官との連携を強化し学習活動に関する積極的な広報活動を各学科で取り組む	・商品開発や技術開発に向けたプロジェクトの取り組みと、月一回の販売活動によるマーケティングやプロモーションを行う。 ・SNSを活用した魅力ある学習活動の情報発信と農場におけるICTを活用した授業展開を行う。				
人権・同和教育	・人権・同和教育を推進するため、個別の人権課題を中心に、差別の現実学ぶ。	・人権・同和教育・生徒支援委員会を毎月開催する。 ・コミュニケーションスキル向上の内容を取り入れる。				
	・本人の責任ではない理由で修学が困難な生徒を支援する。	・問題の種類に応じて、校外の専門機関との連携を深める。 ・生徒が発する信号に対して、全職員がアンテナを高くする。				
第1学年	・あいさつ、人の話を聴く姿勢、コミュニケーション能力の向上を図る。	・学年等で集合する際に、黙想し静かに待機することを徹底させる。 ・ソーシャルスキルトレーニングを一年間継続して行う。				
	・進路目標を早期に設定させ、基礎学力の向上を図る。	・進路の目標設定を細かく行うとともに、自学ノートを活用し家庭学習を全くしない生徒を20名以下にする。 ・認知機能強化トレーニングを一年間継続して行う。				
第2学年	・基礎学力の向上と活用	・欠点取得者への継続した指導を学年全体で行うことで、原級留置の生徒を0にする。 ・進路実現に向けて資格取得に向けた講座に積極的に参加させる。 ・朝トレでの新聞の切り抜き等を読ませる回数を多く設定する。				
	・社会人としての生活習慣を養う	・挨拶、身だしなみ、授業に取り組む姿勢について、自らが判断し行動することができるように指導する。 ・期日内に提出物を出すよう声かけを行い、提出できなかった生徒に関しては居残り指導を行い、必ず提出させる。 ・インターンシップには希望企業で実施できるように新規企業も視野に入れ準備する。				
第3学年	・学校行事において中心的な役割を担わせ、企画力・主体性・指導力などを養成する。	・各種行事や活動時は全員が参加するために確実に一人一役を担わせる。 ・HRや学年集会などで生徒を主体として進行や話をする場面を設定する。 ・意識の低い生徒には教員からのアプローチでやる気を引き出す。				
	・希望進路の実現に向けた指導の充実。	・進路指導部及び学科・各教科と連携して個人面談や三者面談を計画的に行い、進路実現に向け主体的に行動させる。 ・一人ひとりの進路希望を把握して、それぞれに応じた指導をし、年度当初より小論文の個別対策も行う。 ・生徒に的確な情報を提供し、進路希望の明確化を図る。また、早期に対策を始めさせる。				
事務室	・適切な会計処理	・会計処理について法令順守を徹底するとともに節減を実施し、限られた予算の効率的な執行を行う。 ・教員とも連携し、不祥事防止に努める。				
	・農場業務の充実	・技師（農業技術職員）の業務の充実と教員との連携により、更なる農場の管理、運営の充実を図る。 ・学校での生産物販売において、厳密な法令順守の手続きを行うとともに不祥事防止に努める。				

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・

評価項目以外のものに関する意見

--